

令和 8 年度 柏尾小学校 第 2 回学校運営協議会 概要報告

日時: 令和 8 年 10 月 26 日(月)12:15～15:20

場所: 柏尾小学校 PTA 会議室・各教室

出席者: 学校運営協議会委員 14 名 全員出席

1. 当日の内容

(1) 給食懇談会

献立は次の通りです。

- ごはん
- 牛乳
- チキンライスの具
- クリームスープ
- りんご

また、給食懇話会では栄養教諭から本校の食育の取組について説明を行いました。食を通した健康づくりや望ましい食習慣の形成、給食時間や授業における食育の実践などについて紹介し、委員の皆様には本校の取組への理解を深めていただく機会となりました。委員の方々からも食育の重要性について共感や評価の声が聞かれ、本校の食育推進について理解を得ることができました。

(2) 授業参観

全学級の授業を参観しました。国語・算数・社会・体育・外国語など、各学年の学習の様子やスポーツフェスタに向けた練習の様子を見ていただきました。

(3) 学校運営の進捗状況報告

① 全国学力・学習状況調査結果

- 国語・算数は県平均を下回る部分が見られた。

- ・ 「自分の考えを持つ」ことは比較的良好。
- ・ 「朝食を食べる」「いじめはいけないことだ」という意識は高い。
- ・ 一方で「考えの違いを受け入れる」意識には課題が見られた。
- ・ ICT 活用への意識は高く、日常的な活用が進んでいる。

② 児童の様子・いじめ未然防止

- ・ 「こども会議」での発表内容を共有。
- ・ 「考える・伝える・行動する」を合言葉に、児童主体でいじめ防止活動を推進。
- ・ 「ピンクシャツデー」の取組を学校全体へ広げる活動を進めている。
- ・ 代表委員会を中心に話し合いを継続している。

③ スポーツフェスタへの取組

- ・ 11月7日開催に向け、各学年が準備を進めている。
- ・ 1年生・2年生リズムダンス、3年生縄跳び、4年生よさこい、5年生組体操、6年生ソーラン節などを計画。
- ・ 教職員も早朝から準備を行い、子どもたちは意欲的に練習に取り組んでいる。
- ・ スポーツフェスタを通して児童の成長を目指している。

④ 横浜学校安心安全宣言

- ・ 舞岡ブロックの小中学校の校長による動画を作成し、各校で視聴。
- ・ 学校全体で安心・安全意識の向上を図っている。

⑤ こども性暴力防止法への対応

- ・ 12月25日の施行に向け、教職員研修を計画している。
- ・ 座学と事例研究を組み合わせながら実施する。
- ・ 教職員全体で理解を深め、組織的な対応力向上を図る。

2. 意見交換で出された主な意見

学級経営・児童理解について

- ・ 学年や学級によって雰囲気の違いが大きい。
- ・ 特性のある児童への対応は保護者と連携しながら進めている。
- ・ 担任と児童との関係づくりが重要である。

コミュニケーション力について

- ・ 言葉遣いや対話する力を心配する声があった。
- ・ 子どもたちに「聞く力」「話す力」を育てる取組が大切。
- ・ 地域との交流を増やすことで改善につながる可能性がある。

3. 委員感想のまとめ

委員の皆様からは次のような意見が寄せられました。

良かった点

- ・ 挨拶をしてくれる児童が多い。
- ・ 授業に落ち着いて参加する児童が増えている。
- ・ 子ども主体のいじめ防止活動が素晴らしい。
- ・ 食育の取組が家庭での会話につながっている。
- ・ ICT 活用が進み、1 年生からタブレットを使いこなしている。
- ・ スポーツフェスタに向けた児童・教職員の頑張りが感じられる。

課題として挙げられた点

- ・ 児童の一部で落ち着きに課題が見られる。
- ・ 言葉遣いやコミュニケーション力の向上が必要ではないか。→地域の人など対話する機会をもつのもよいかもしれない。
- ・ タブレット活用に伴い、筆圧や手書きの力を心配する声があった。
- ・ ICT を十分に活用できていない児童への支援が必要。
- ・ 気になる児童について家庭との情報共有をさらに充実させたい。
- ・ 校内美化(階段・廊下等)のさらなる充実を望む意見があった。

地域との連携について

- ・ 地域イベントや町内会のカフェサロン等への児童参加が増えている。
- ・ PTA として地域活動への協力を進めたいとの意見があった。
- ・ 学校運営協議会の取組は他校からも高く評価されている。

総括

第 2 回学校運営協議会では、全国学力・学習状況調査結果、いじめ未然防止活動、スポーツフェスタ準備状況、安全・安心な学校づくり等について協議しました。委員からは、児童の成長や学校の取組を評価する声が多く聞かれる一方、コミュニケーション力の育成や ICT 活用と手書き学習のバランス、児童理解と家庭・地域との連携強化について貴重な意見が寄せられました。今後も学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの健やかな成長を支えていくことを確認しました。